

セミナー 「構造物の地震リスクマネジメント」 報告

平成 21 年 4 月 14 日（火）13:00 - 16:00、建築会館ホールにおいて、セミナー「構造物の地震リスクマネジメント」を日本地震工学会の主催により開催しました（主催：日本地震工学会、後援 日本建築学会・土木学会・地盤工学会・日本機械学会・日本地震学会・日本活断層学会）。ゼネコン、コンサルタント、中央官庁、大学、研究機関、損保関連などから、合計 83 名の参加者がありました。

講師には、東京大学大学院新領域創成科学研究科の神田順教授、株式会社篠塚研究所の中村孝明主席研究員をお招きいたしました。

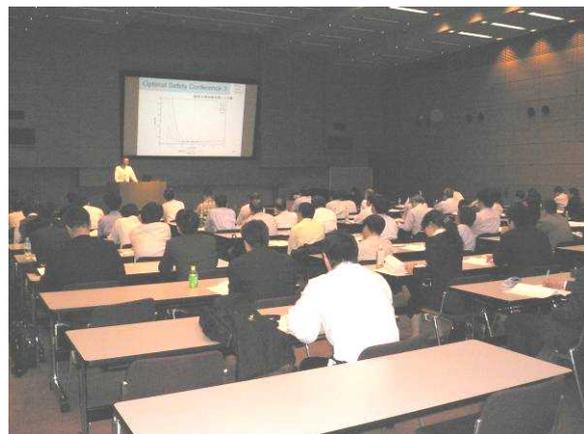
神田先生からは、「耐震安全性の設計目標と社会的合意」というテーマで、確率論的耐震安全性の評価や限界状態設計法の活用に信頼性指標を用いた検討手法について詳しく説明があり、また耐震安全性と関係者の利害、社会的意味について解説をいただきました。中村先生からは「地震リスクの定量化とリスクマネジメント」というテーマで、企業の地震減災計画から定量化手法を用いた地震対策提案について説明があり、特に建築物の耐震性能設計支援については、エンドユーザーが地震の被害程度をよりわかり易く認識できるよう、復旧期間をキーワードにその性能を提示する必要があるなどの解説をいただきました。

3 時間途中休憩なしの講習会でしたが、出席された方は熱心に聴講されていました。

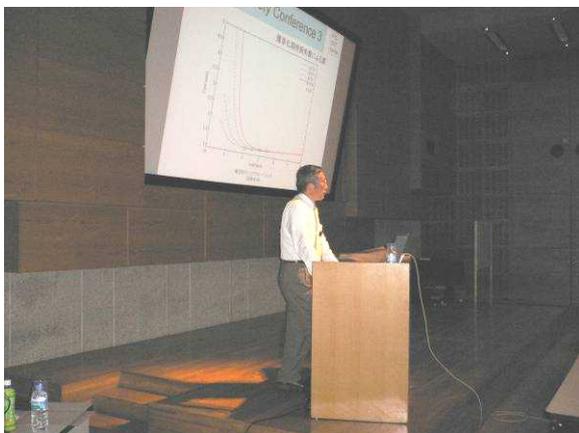
最後に、貴重な講演を賜りました講師の先生方に心より御礼申し上げます。



建築会館入り口の案内版



会場の様子



神田先生のご講演



中村先生のご講演

（文責：事業企画委員会 東 知宏 東京海上日動リスクコンサルティング(株)）